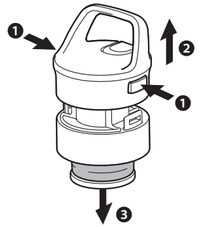
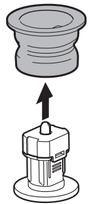
## 分解方法

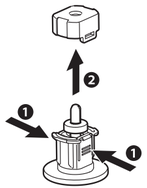
1 ❶両サイドのロックボタンを押し込みながら❷上ぶたを外します。❸中栓ユニットを引き抜きます。



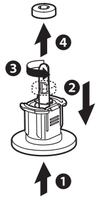

2 中栓ユニットから収縮パッキンを引き抜きます。



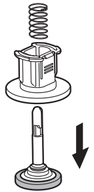
3 ❶台座の矢印部を両側からつまみ、❷内ぶたを外します。




4 ❶シャフトを下から押し上げます❷ロックリングを下に押し下げ❸矢印の向きに回転し、❹シャフトから引き抜きます。




5 台座からシャフト、バネを取り除きます。



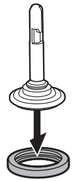
6 シャフトからシャフトパッキンを取り外します。

分解・組立については動画でも確認ができます。左の二次元コードをスマートフォンなどで読み取り再生してください。

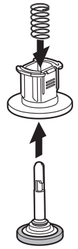


## 組み立て方法

1 シャフトにシャフトパッキンを取り付けます。
(9ページの図を参照にしてください)

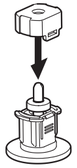


2 台座にシャフト、バネを差し込みます。

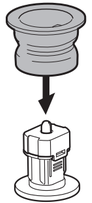


3 ❶シャフトを押し込みながら❷ロックリングをシャフトの溝に合わせて差し込み、❸ロックリングを押し込みながら矢印の方向へ回し、ロックリングをロックします。

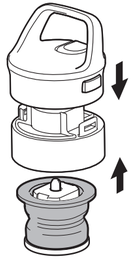
4 内ぶたを取り付けます。内ぶたがロックされていることを確認してください。



5 収縮パッキンを中栓ユニットに取り付けます。
(9ページの図を参照にしてください)



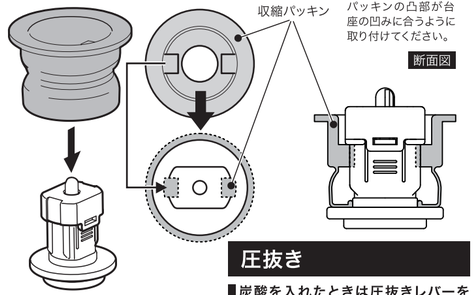
6 上ぶた、中栓ユニットを下ぶたに、取り付けます。





## パッキンの取り付け方

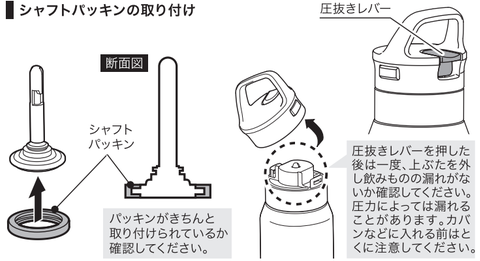
### 収縮パッキンの取り付け




## 圧抜き

**炭酸を入れたときは圧抜きレバーを押してこまめに圧抜きをしてください。**

### シャフトパッキンの取り付け






## 赤い斑点・ザラザラが付着した場合

**ボトル内側にサビのような赤い斑点や、ザラザラしたものが付着した場合には…**

**サビのような赤い斑点ができた場合**

水に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、30分ほど放置した後、柔らかいスポンジブラシなどで、内ぴんの内壁をよく洗ってください。
食酢が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

**ザラザラしたものが付着した場合**

水に含まれるカルシウムが付着したものです。クエン酸を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、ふたユニットを取り付けず、3時間程放置した後、柔らかいスポンジブラシなどで、内ぴんの内壁をよく洗ってください。クエン酸が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

**各パッキンは消耗品です。**
約1年間を目安にご確認いただき、作動がスムーズでなかったり、表面のザラつきや損傷がある場合は交換してください。消耗のある場合は、品番をお確かめのうえ、表示者までお問い合わせください。

## 製品仕様

| 品番 | | ASO-370 | ASO-530 | ASO-750 |
|---|---|---|---|---|
| 品名 | | ステンレス製携帯用魔法瓶 | | |
| 材料の種類 | 本体 | 内びん／ステンレス鋼 | | |
| | | 胴　部／ステンレス鋼 | | |
| | | 口　金／ステンレス鋼 | | |
| | ふたユニット | ポリプロピレン | | |
| | 圧抜きレバー | ABS 樹脂 | | |
| | ロックボタン | ポリアセタール | | |
| | パッキン | シリコーンゴム | | |
| 実容量 | | 0.37L | 0.53L | 0.75L |
| 保冷効力 | | 9℃以下（6時間） | 9℃以下（6時間） | 8℃以下（6時間） |

※保冷効力とは室温 20℃±2℃において製品に冷水を入れたユニットの下端まで入れ、水温が 4℃±1℃になったとき、ふたユニットをして縦置きにした状態で6時間放置した後のその水の温度です。


表示者　株式会社アトラス
〒192-0906　東京都八王子市北野町549-1 第2石坂ビル
https://www.atlas-scm.jp/

お問い合わせ
TEL.042-660-8870
受付時間／9:00～18:00
月～金曜日（祝日・弊社休業日を除く）
※通話料はお客様負担となります。


品質には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合はご使用にならないで、お買い求めの販売店までご連絡ください。



保冷専用

スパークス
# SPARX
# 真空断熱炭酸用ボトル

●本品は炭酸対応ボトルですが、ビールなどのアルコール類、炭酸の強いものは泡が溢れることがありますので注意してください。

## 取扱説明書
## ASOシリーズ

このたびは、弊社のステンレスマグボトルをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この説明書を最後まで必ずお読みになり、正しく安全にご使用いただきますよう、お願いいたします。
また、本書は、万一ご使用中にわからなくなったときにお役に立ちますので、いつでもみられる所に大切に保管してください。

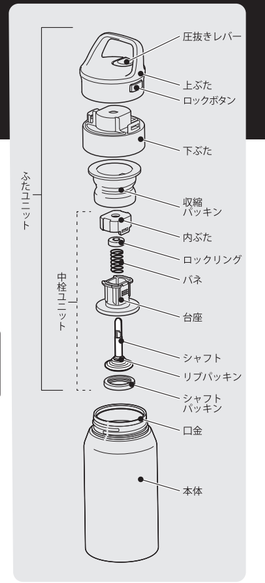
⚠ **ふたユニットを閉める際は最後までしっかりと閉めてください。**

**ご使用の前に**

●はじめてご使用になる前に本体のキズ・凹み、ふたユニットのひび割れなどの不具合がないことをご確認ください。
●底面の製造ロットシールは、はがさないでください。
●はじめてご使用になるときは、本体内側・ふたユニットを食器用洗剤をつけたスポンジなどでよく洗ってください。

※説明中のイラストは実際のものと異なる場合があります。また品質向上・改良のため、予告なく仕様・デザインなどを変更することがありますのでご了承ください。

●各部のなまえ



# ⚠ご使用上の注意　保冷専用

**警告**

- **本品は保冷専用ボトルです。温かい飲みものは入れないでください。**
  熱いものは絶対に入れないでください。やけどの原因になります。
- **炭酸飲料を入れた状態で、横置きにしないでください。**
- **本品は炭酸対応ボトルですが、ビール等のアルコール類、炭酸の強いものは泡が溢れることがありますので注意してください。**
- **圧抜きレバーを押した後は一度上ぶたを外し、飲みものの漏れがないか確認をしてください。**
  圧力によっては漏れるがことがあります。カバン等に入れる前は特に注意してください。
- **車内や直射日光の当たる場所等、高温になるところに長時間放置しないでください。**
  飲みものの温度が上がり、圧力上昇により飲みものが吹き出しでものを汚す原因になります。
- **落下などの衝撃を避けてください。衝撃が加わった場合、しばらく時間をおいてから圧抜きをし、ゆっくりとふたを開けてください。**
  変形や割れ、保冷不良の原因になります。またふたユニットの破損原因になります。
- **ビールなどのアルコール類、炭酸飲料は冷蔵庫でよく冷やしてから入れてください。**
  飲みものの温度がぬるいと炭酸が抜けやすく吹き出しやすくなります。

- **乳幼児の手の届くところには置かないでください。**
- **炭酸飲料を入れた場合は必ず圧抜きをしてからふたを開けてください。**
- **炭酸飲料を入れた場合、最初の30分を目安に一度、圧抜きレバーを押し圧抜きをしてください。**
- **炭酸飲料を入れた場合、故意にボトルを振ったりするのはやめてください。**
- **圧抜きレバーを押すときは必ずボトルを立てた状態でおこなってください。**
  本体を横にして圧抜きレバーを押すと中身がこぼれるおそれがあります。
- **ふたを開けるときはゆっくりと開けてください。**
  圧が抜き切れていなく吹き出すおそれがあります。
- **飲みものはゆっくり注いでください。**
- **ふたユニットを閉めるときは、本体を傾けたり揺らしたりしないでください。**
  飲みものが溢れ出す原因になります。また漏れて、ものを汚す原因になり危険です。
- **飲み終わったら、本体を立て、ふたユニットを確実に閉めてください。**
  閉め方が不十分ですと、傾けた場合飲みものが漏れ、ものを汚す原因になり危険です。
- **ふたユニットはしっかりと閉めてください。**
  内圧が上がり、炭酸など飲みものが吹き出したりするおそれがあります。
- **圧抜きレバーを押したときに中の圧力のかかり具合によっては、中身が炭酸と一緒に溢れてくるおそれがあります。**
- **標高の高い場所では特に内圧が上がる為、こまめに圧抜きをおこなってください。**
- **ボトルや取っ手を持って振ったり振り回すのはやめてください。**
- **取っ手を持って持ち運ぶ際は、上ぶたがしっかりと固定されていることを確認してからご使用ください。**
- **ロックボタンが確実にロックされていることを確認してご使用ください。**
- **ふたユニットは必ず外してから飲みものを入れてください。**
- **冷凍庫には入れないでください。**
- **飲みものを入れた状態で本体を逆さまにしないでください。**



- **飲みものの量は、取扱説明書5ページ右下の図を参考にしてください。**
  入れすぎるとものを汚す原因になり危険ですが開かなくなったり、閉めたときに飲みものが溢れ出す原因になります。また、使用中に漏れ、ものを汚す原因になり危険です。
- **大きな氷を入れる場合は押し込まず小さく砕いて入れてください。**
- **炭酸飲料を入れた状態で氷を入れると炭酸が抜けやすくなります。**
- **分解洗浄後、ご使用前は各パッキンが正しく取り付けられていることを確認してご使用ください。**
  飲みものが漏れ、ものを汚す原因になり危険です。各パッキンの取り外し、取り付けの際、部品の紛失及び未装着に注意して取扱説明書を参考にして間違いなく組み立ててからご使用ください。
- **ストーブやコンロなど火気のそばに近づけないでください。**
  やけどや製品の変形や変色の原因になります。
- **電子レンジで加熱しないでください。**
  火花が飛び危険です。ケガや事故、破損の原因になります。
- **次のものは絶対に入れないでください。**
  - ■ドライアイス
    内圧が上がり、ふたが開かなくなったり、飲みものが吹き出したり、ふたが破損して飛散する原因になります。
  - ■牛乳・乳製品・果汁など腐敗しやすいもの
    成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、ふたユニットが開かなくなったり、飲みものが吹き出したり、ふたユニットが破損して飛散する原因になります。
  - ■お茶の葉・果肉
    すき間などにつまり、漏れてものを汚す原因になります。
- **においの強いものを入れると、本体やパッキンににおいが残る場合がありますが、品質上問題はありません。**
  お手入れ方法に従って汚れやにおいを落とした後、十分に乾燥させてください。
- **飲みものを入れた状態で長く放置しないでください。**
  成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、ふたユニットが開かなくなったり、飲みものが吹き出したり、ふたユニットが破損して飛散することがあり危険です。
- **お茶などは早めにお飲みください。**
  長時間保存するとお茶の色や味が変わります。
- **製品の構造上、湿度が高いときにふたユニットに水滴がつく場合があります。ご注意ください。**
- **バッグなどに入れるときは、本体を縦に置いてください。**
  万一の漏れを防ぎます。
- **パソコン・デジタルカメラなどの精密機器と一緒に持ち運ぶのはやめてください。**
  万一、内容物が漏れた場合、精密機器の破損の原因になるおそれがあります。
- **持ち運ぶ際、次の点を必ず守ってください。**
  - ■持ち運ぶ際は、上ぶたが確実に固定されていることを確認してください。
  - ■ロックボタンが確実にロックされていることを確認してご使用ください。
- **運転中は危険ですので使用しないでください。**
  車内や衣服を汚したり、やけどの原因となり危険です。また、運転者の場合は運転への注意が散漫になり非常に危険です。ドリンクホルダーに入れる場合は、あらかじめホルダーの強度を確認してからご使用ください。強度や固定が不十分ですと破損したり、外れて落下のおそれがあり危険です。



# お手入れ方法

**使用後は、必ずその日のうちにお手入れしてください。**
**お手入れするときは、柔らかいスポンジでおこなってください。**

### 本体(外側・内側)のお手入れ

本体は食器用洗剤を薄めたぬるま湯で柔らかいスポンジ・フキンで洗った後、水洗いしてください。
水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

### ふたユニット

ふたユニットは丸洗いできます。スポンジで洗った後、水洗いしてください。
水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

### パッキン

パッキンをふたユニットから取り外し、ぬるま湯で丸洗いし、
乾いた布で水分を拭き取ってください。

# ⚠お手入れ上の注意

- **ご使用後は、必ずきれいに洗ってください。**
  お手入れが不十分だと、におい、汚れ、パッキンの変色の原因となるおそれがあります。
- **本体を洗った後は、すぐに水分を拭き取ってください。**
  水滴の跡が残ったり、サビやものを汚す原因となります。
- **シンナー、クレンザー、金属タワシ、化学雑巾などは使用しないでください。**
  キズやサビ、破損の原因になります。
- **本体やふたユニットの煮沸、および食器洗浄機や食器乾燥機などのご使用はおやめください。**
  変形や漏れの原因になります。
- **塩素系漂白剤は使用しないでください。**
  サビ、破損の原因になります。
- **本体・ふたユニットのつけ置き洗いなどはしないでください。**
- **ふたユニットを本体に取り付けたままお手入れしないでください。**
  お手入れの際はそれぞれ取り外した状態でおこなってください。
- **長時間ご使用にならない場合は、汚れをきれいに洗い落とし完全に乾燥させてから清潔な場所で保管してください。**
- **改造・修理・分解は絶対にしないでください。**
  破損、事故の原因になります。
- **スポーツ飲料を入れた時は、使用後早めにお手入れをしてください。**
  においの付着やサビ等の原因になります。



# ご使用方法

**ご使用の前に**

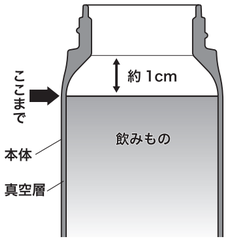
- はじめてご使用になる際は、食器用洗剤でよく洗ってからご使用ください。
- 製品にガタつき、破損などはないか確認してからご使用ください。
  不具合があった場合、使用しないでください。

## 1 ふたユニットを外す

## 2 飲みものを入れる

**飲みものの量は、下図の ➡ 部までにしてください。入れすぎるとふたユニットを閉めたときに中身が溢れる場合があります。**
**入れすぎた場合は、減らしてから、ふたユニットを閉めてください。**

＊あらかじめ、本体に少量の冷水を入れ、1分程度置き、予冷してから入れ替えると保冷に効果的です。
＊熱い飲みものは入れないでください。



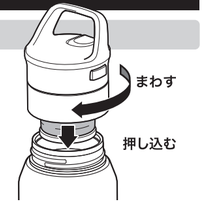

断面図



## 3 ふたユニットを閉める

**ふたユニットを閉める。**
＊圧抜きをする場合やふたユニットが開きにくくなった場合は、ボトルが倒れないように十分注意して必ず本体を立てた状態で布（タオルなど）をあてて、ゆっくりと開けてください。

**⚠ ふたユニットを閉める際は最後までしっかりと閉めてください。**




## 4 ふたユニットを開けて飲みものを飲む

**ふたユニットを開けて、ゆっくり傾けながら飲みものを飲んでください。**
＊飲み口に残っていた水滴が飛散することがありますので、ご注意ください。

ボトルに炭酸を入れている場合は圧抜きレバーを押し、十分減圧してから開けてください。

## 5 飲み終わったら

**飲み終わったら本体を立て、ふたユニットを閉める。**
＊ふたユニットを閉めるときは、本体を傾けたり揺らしたりしないでください。内容物が溢れ出たり、漏れたりして、ものを汚す原因になります。